

開かれた議会 市民とともに歩む議会 行動する議会

たきざわ市議会だより

第8号
平成27年9月15日
発行責任者：滝沢市議会議長
編集：広聴広報常任委員会

委員会等の構成

予算決算常任委員会

一般会計、特別会計及び企業会計の予算、決算等の財務に関する事務を取り扱います。議長を除く全員で構成しています。
委員長：遠藤 秀鬼
副委員長：相原 孝彦

議会構成決まる

議長 長内 信平氏
副議長 佐藤 澄子氏

このたび、議員各位のご支持により議長に就任いたしました。このことは私にとりましてこの上もなく光栄に存じますとともに、職責の重大さを痛感しているところであります。もとより微力ではございますが、市の発展と市民福祉の向上に誠心誠意努力する所存でございます。

これからの議会運営にあたっては、議会基本条例の着実な運用を誠実に実行し、「開かれた議会」「市民とともに歩む議会」「行動する議会」をめざし改革に取り組んで参ります。新人議員が半数を占め議会に新しい風が吹いてきます。ベテラン議員も含めその能力を最大限発揮できるよう、議会の環境整備に努める所存でございます。

近い将来、生産年齢人口の減少と急激な高齢化の到来で、市の人口も減少が予測される状況にあります。それを乗り越えるべく対応施策や、市の将来展望を見据えて、それぞれの地域の活性化を推進進めていくことが重要です。したがってこれまで以上に地域の実情に応じた建設的な議論を行って参りたいと存じます。

私たちは市民の皆さまの負託に応え、議会としての使命を全うすべく決意を新たにしております。今後も、引き続き議会に対するご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

環境厚生常任委員会《6人》

健康福祉部、市民環境部（総務教育常任委員会の所管する分野は除く）に関する事務を取り扱います。

委員 齋藤 明
委員 遠藤 秀鬼
委員 相原 孝彦
委員 日向 裕子
委員 小田島 清美
委員 高橋 辰雄
委員 山谷 仁
委員 高橋 辰雄

総務教育常任委員会《7人》

市民環境部内「地域活動の支援に関すること」(戸籍・住民基本台帳に関すること)、消防、防災、防犯、交通安全に関すること、交通安全に関すること、企画総務部、教育委員会、監査委員会に関する事務、他の常任委員会に属さない事務を主に取り扱います。

副委員長 武田 哲
委員 日向 清一
委員 山谷 仁
委員 高橋 辰雄

議会運営委員会《7人》

円滑な議会運営のため、全般について協議・意見調整を図る場として設置しています。

委員 山谷 仁
委員 桜井 博義
委員 松村 一
副委員長 遠藤 秀鬼
委員 相原 孝彦
委員 工藤 勝則
委員 角掛 邦彦

産業建設常任委員会《6人》

経済産業部、都市整備部、上下水道部、農業委員会に関する事務を主に取り扱います。

委員 松村 一
委員 川原 涉
委員 桜井 博義
委員 角掛 邦彦
委員 佐藤 澄子
委員 藤原 治

広聴広報常任委員会《8人》

広聴活動、議会広報紙やホームページの編集に関する事務を取り扱います。

委員 工藤 勝則
委員 武田 哲
委員 藤原 治
副委員長 桜井 博義
委員 稲荷場 裕
委員 相原 孝彦
委員 川原 涉
委員 佐藤 澄子

会派名称	所属議員名
一新会	◎遠藤 秀鬼 工藤 勝則 川原 涉 日向 裕子 川村 守 松村 一 長内 信平
新志会	◎山谷 仁 藤原 治
滝政会	◎角掛 邦彦 稲荷場 裕 高橋 辰雄
公明党	◎相原 孝彦 小田島 清美
日本共産党	◎桜井 博義 仲田 孝行
会派に属さない議員	齋藤 明 武田 哲 日向 清一 佐藤 澄子

会派紹介

会派は、同じ政策が基本的に一致している議員同士の団体です。会派内での議論により、資質向上や効率的な議会運営が期待されます。(◎は代表)

（一部事務組合の名議会議員について、次の議員を選出しました。）

- 盛岡地区衛生処理組合議会
議員 川村 守、相原 孝彦
- 盛岡地区広域消防組合議会
議員 武田 哲
- 岩手県後期高齢者医療広域連合議会
議員 桜井 博義
- 滝沢・雫石環境組合議会
議員 齋藤 明、角掛 邦彦、松村 一

議案の審査結果

6月会議

全員賛成で議決した議案

議案第2号	平成27年度滝沢市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	議案第6号	滝沢市介護保険条例の一部を改正することについて
議案第3号	平成27年度滝沢市介護保険特別会計補正予算(第1号)	議案第7号	盛岡広域都市計画下水道事業滝沢公共下水道受益者負担に関する条例の一部を改正することについて
議案第4号	平成27年度滝沢市介護保険介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)	議案第8号	平成27年度滝沢総合公園体育館改修工事請負契約の締結について
議案第5号	平成27年度滝沢市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)		

賛否が分かれた議案

議案	投票結果																				賛成票数	反対票数			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20					
議案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19	18	1	
発議第1号	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	※	19	12	7
発議第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	※	19	18	1
請願第3号	○	×	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	※	19	7	12

○賛成 ×反対 一欠席
※1 黒沢明夫議員は議長であるため採決には加わりません。

請願

件名	趣旨	結果
「安全保障法制 関連法案撤回を求める請願」	憲法違反の「安全保障法制」関連法案を撤回するよう安倍内閣に意見書を上げて下さい。	採択
「子どもの医療費助成制度拡充を求める請願」	○すべての子ども医療費を窓口負担のない現物支給方式とし、中学卒業まで全額助成すること。 ○現物給付方式を理由とした国民健康保険国庫負担金の減額措置を廃止するよう、国へ意見書をあげる。	採択
「農業改革をはじめとした「農業改革」に関する請願」	○農政改革にあたっては、国連も推奨している家族農業経営も担い手に位置付け、食料自給率の向上をめざすものとする。一般企業の農地取得に道を開く農地法改定や農業委員会の公選制廃止などを止めること。 ○協同組合である農協のあり方は、農協自身の改革を尊重し、法的な措置による強制は止めること。 ○以上の政策を実現するため、貴議会として「意見書」を採択し、地方自治法第99条に基づき、政府関係機関に送付すること。	採択

7月会議

全員賛成で議決した議案

議案第1号	平成27年度滝沢市防災行政無線施設更新整備工事請負契約の締結について
発議第1号	滝沢市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正することについて
発議第2号	滝沢市議会会議規則の一部を改正することについて

※賛否が分かれた議案は、ありませんでした。

8月会議

同意第1号
滝沢市監査委員
日向 清一氏(65歳) 新任

※議案は、本案1件のみでした。

これからも引き続き改革を進めるため「議員定数」「議員報酬」について、皆様から寄せられたご意見を踏まえ、次のとおりまとめました。

《議員定数》現状どおり、20人。理想は22~25人ですが、議会活動をより活性化させ、成果を示し改めて議論すべき。

《議員報酬》現状からの増額。
●議長 月額 411,000円 (51,000円の増) ●副議長 月額 352,000円 (49,000円の増) ●議員 月額 329,000円 (36,000円の増)

地方分権時代の、激しい変化に対応する提言型議会の実現のため、議員の「専門化」も視野に入れ、増加する議員活動に準じた報酬額とする。しかし、増額には財源の確保が欠かせません。非常に厳しい社会経済情勢を踏まえ、増額時期は「2年以内とし当面は現状どおり」としました。

9~11月 日程予定	6月~8月会議の傍聴者 46名
9月16日(水) 予算決算常任委員会※	10月22日(木) 各常任委員会
9月18日(金) 9月会議※	11月12日(木) 議会運営委員会
10月1日(木) 議会運営委員会	11月12日(木) 全員協議会
10月8日(木) 全員協議会	11月26日(木) 各常任委員会

※は、本議会議場で開かれます。それ以外は、それぞれ委員会室等で開かれます。

～お知らせ～
◎ホームページで「滝沢市議会だより」や「議会会議録」をご覧いただけます。
◎議場は、市役所4階です。
◎日程、内容は予定であり、変更する場合がありますので、ご了承ください。

一般質問 《6月会議》



Q 新職員と中堅職員の 人材育成策について

人事考課制度など
本格的に導入



川原清議員
会派に属さない議員

「城は石垣、組織は人で持つ」と言われ、人材の育成は市として最大の課題です。

新採用のころは張り切っているが、3年も経てば同化して前年と同様の仕事しかしていません。先輩職員が若い芽をつぶしている感があります。

市の体質は、新しい仕事には取り組まないなど企画力に欠けます。これは失敗すれば「減点」される人事行政の問題があり、加点主義に改める時期と違い、以下4点を質問します。

①職員の人材育成策は。
②新職員教育と中堅職員の育成策は。
③行政として弱い立場の人の救済任務があり、それを実践する職員の育成策は。
④中堅職員と新職員との連携策は。

【答】①これまで人事考課制度を試行してきましたが、来年度から本格的に実施します。

②新職員は公務員としての役割や財政の仕組みなど、中堅職員は市町村アカデミーなどに派遣して専門知識を習得させています。

③弱い人々を救済するには話を聞き常に住民目線で仕事をするように指導しています。

④中堅職員と新職員の懇談を深めます。

【問】国勢調査の年ですが、プライバシーの保護が、プライバシーの保護は。
【答】今回から、インターネットによる回答ができ、プライバシーの保護につながるものと判断しています。

Q 空き家対策の取組みは 実務マニュアルを作成中



山谷仁議員
新志会

国の「空き家対策特別措置法」が6月26日に全面的に施行されました。市でも相当数の空き家が存在し、問題を抱えています。今後の取組みは。
【答】本年1月から関係各課による「4Pプロジェクトチーム」で検討し、5月には対策スケジュールの骨子を定め、内部の説明や合意を経て、運用ガイドラインに基づく実務マニュアルを8月には作成します。

【問】滝沢中央小学校の建設が遅れ、それに関連して、市でも相当数の空き家が存在し、問題を抱えています。今後の取組みは。
【答】28年度以降の歳入不足に対応するため、県内内陸都市部の行政事務と比較しながら、自主財源拡大策による歳入増額目標と事業見直しなど歳出削減目標を掲げています。

【問】28年度に完成予定の交流拠点複合施設に市民の期待が大きいですが、そこまで出かける公共交通手段は万全の準備が出来ているのか。
【答】図書館ホール等は28年12月、全館オープンに予定されています。市内各地から市役所周辺に出かける交通手段を利便性の高いものにするため、市内幹線バスルートや運行便数に早め早めに対応を進めます。

Q 交流拠点複合施設の 目的と市民への効果は

学習・交流・イベント等で
市民活動の「核」を形成



桜井博義議員
日本共産党

施設の目的とそれに伴う市民の効果は。
【答】市民の学習・交流・イベント等により、交流の核を形成します。

【問】高齢者の社会参加に結びつける手法、利用形態の考えは。
【答】サークル活動や作品展、発表の場を提供します。

【問】多額の予算、起債を見込む中、他の事業への影響は。
【答】借入利率の軽減償還年数の延長など見直しを図ります。

【問】使用料とランニングコストをどう見込むか。
【答】ランニングコストや施設の活用方法等の調査を実施中で、コストを意識した最適な維持管理を行います。

【問】施設周辺の土地利
用や街づくりは。
【答】施設周辺は行政社会教育は既存施設がその機能を担っていますが、これらと一体となった商業、オフィス機能は整備が必要と考えます。

【問】県の子ども医療費助成制度は、今年8月より小学生の入院まで拡充されるが、市では助成しないのか。
【答】県及び県内市町村の動向を踏まえ、財政状況を把握し総合的に検討します。

【問】安価で、継承者がいなくても利用できる公営墓地の考えは。
【答】市内に空き区画が相当数あることから整備は考えていません。

Q 滝沢中央小学校早期建設に 向けた取組状況は

県選出国會議員や
国に対して要望を実施



工藤勝則議員
一新会

滝沢中央小学校建設の状況は。
【答】最大の年の延期ですが、1日も早い開校に努力しています。

【問】最大2年の延期ですが、1日も早い開校に努力しています。
【答】26年度に詳細設計は完了しており、開校に合わせて完成したいと考えています。

【問】市内30自治会の集会所の実態は。
【答】各自治会集会所はさまざま手法で建設と

Q 市内芸術家の作品の 寄贈を受け貸出できないか

芸術文化の振興から検討



高橋盛佳議員
新志会

市内在住の優れた芸術家の協力を得て、作品をふるさと交流館や交流拠点複合施設に展示するとともに、作品の寄贈と個人、学校や企業への貸出を考えてはどうか。
【答】作品の寄贈と個人、学校や企業への一定期間の貸出は、芸術文化の振興の観点から実現に向けて検討します。

【問】住民協働の除排雪事業をどう進めるのか。
【答】上の山自治会の先導的な取組による経費削減効果等を検討し、年度末に案をまとめ、自治会連合会などと議論していきます。

【問】全市民的な自治会活動交流ができないか。
【答】自治会連合会と連携した活動の事例発表等部門ごとの研修会ができるよう支援します。

【問】期日前投票所の増設は。
【答】県立大学など市にある大学機関と連携した若者の政治意識の涵養と投票行動促進は、極めて大切であり、今後検討します。

環境厚生常任委員会 調査活動報告

第6期滝沢市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画について

調査日 26年5月29日/27年1月29日

来たる超高齢社会に向け、市が策定した「第6期滝沢市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」が、想定される課題等に対応したものであるかについて、調査を行いました。

◎委員会の考察

団塊の世代が75歳以上となる平成37年を見据え、段階的に介護サービスの充実・高齢者を支えることを、地域全体でシステム構築を図らなければならぬと考えます。

市では、二丁調査などをして「第6期滝沢市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」を策定しましたが、今後の高齢者の生活状況やサービス提供事業者の動向を把握しながら、次期の計画に反映する必要があると考えます。

滝沢市福祉事務所の 事務事業について

調査日 25年10月16日/27年5月13日

市制施行により福祉事務所を設置し、健康福祉部の組織内で事務を兼務しています。

主な事務事業として社会福祉法人の設立認可、指導監督等、国民生活基盤調査、生活保護事務認定支給、その他児童福祉課に該当する事業など11事業に及んでいます。

市制施行に伴う事務移行が円滑に行われているか等について、調査を行いました。

◎委員会の考察

生活保護法の認定・支給等の事務は、申請から決定までに要した平均日数がこれまで17日だったものが13日と短縮されていることは市制のメリットと考えます。

また仕事量の増加で担当職員の負担の増加が心配されることから、事務量に見合う職員配置を行い、住民サービスの低下にならないよう業務を行う必要があると考えます。

産業建設常任委員会 調査活動報告

交通政策のあり方について

調査日 26年5月29日/6月26日/7月24日
8月7日/8月28日/27年1月29日
視察日 26年10月29日/10月30日

本市の公共交通について、現在はお山の湯や陸大学への移動を主目的とした「福祉バス」が主となり担っていますが、複合施設の開所に合わせ、市民の移動需要が変化することも想定され、改めてそのあり方について調査研究を行いました。

また、高齢化時代を踏まえた「乗合タクシー」の可能性について、本市で実施した場合の可能性及び採算面からの持続性等について、実践している先進地を視察し、調査を行いました。

◎視察調査内容

埼玉県三芳町(みよしまち)

「デマンド交通」のぞみカー」の試行運転をするため、2年程前から準備を進め、住民の移動状況を把握するため、全町アンケートを実施し分析していることが注目されました。アンケートからは、移動理由として「買い物」「通院」「公共施設」などが主なものとして明らかにされました。これらの現状を把握した上で、本格導入の是非を判断する予定でした。

●千葉県ケチ浦市

「デマンド型乗り合いタクシー」の実証運行を行い、利用者数が大幅に下回る結果となったことを受けて、運行が廃止されました。

市民からは「利用の予約などが面倒」「病院などで診察が延びた場合、予約した便に乗りきれない」「狭い車内で他人と同乗することへの抵抗感」等の意見があり、普及浸透には大きな課題があることを改めて痛感しました。

◎委員会の考察

本市における交流拠点複合施設等のアクセスや現在運行されている患者輸送バス、福祉バス、通学を含めて交通弱者に配慮するべきと考えます。

また、イベント時と平常時の二面性を見据え、市役所を中心とした地域性及び以下に掲げた点を考慮し、交通政策を総合的に見直す必要があると考えます。

①公共交通空白地域の現状と住民意向調査の実施策との関連性
②地域に根ざした福祉政策との関連性
③ニーズに合ったデマンド型交通施策の実施